

令和元年度 大阪府立花園高等学校 第2回学校運営協議会記録

- 1 日時 令和元年11月21日(木) 14時15分～16時15分  
14:25～15:15 授業見学  
15:20～16:15 協議
- 2 出席者 協議会 会長 学識経験者  
委員 学識経験者 中学校校長 本校卒業生 本校PTA会長  
校長 教頭 事務長 首席1 首席2 教務部長 進路部長 保健部長  
3年学年主任 2年学年主任 1年学年主任

3 協議

(1) 平成31年度(令和元年度) 学校経営計画進捗状況報告

- ・授業力向上の取組(互見授業・公開授業の定着)  
互見授業に係るグループワークを取り入れた研修
- ・花園探究プロジェクトの実施状況  
花園進路探究プログラム:6月と11月に課外活動として実施  
11月には220人以上の生徒が自主的に参加  
総合的な探究(学習)の時間:1年:クエストエデュケーション「企業探究」  
2年:SDGs 地球上の様々な課題  
ラグビーW杯応援プロジェクトの取組:考える力、発信する力、やり抜く力を育成。生徒の成長、自己肯定感。
- ・国際文化科への再編・新学習指導要領・高大接続改革への取組  
将来構想委員会のもとにPTやWGを置いて検討  
これまでの取組を活かして発展、深化させる。
- ・修学旅行及び海外語学研修の報告:普通科(沖縄) 国際教養科(豪州)  
ともに生徒の満足度は高いが、教職員の旅費の削減による影響は少なくない。

(2) 第1回 授業アンケート 昨年度との比較

9項目8項目において評価がアップ。授業力向上の成果が出てきつつある。

(3) 教科書選定について

第1回運営協議会での承認通りに決定

(4) 授業見学の感想

- ・生徒は楽しそうに授業に取り組んでいた。
- ・数年前から生徒も教員も授業の取組みに進歩がみられる。
- ・授業アンケートの数値向上にも現れていると思う。

4 委員からの主な提言

- ・新しい試みや教育が進んでいると感じた。
- ・探究プロジェクトは関わった生徒の変化が感じられる。
- ・探究学習は大学や会社に入ってから行うことが早くからできてよい経験になっている。将来を考える良い機会になっているのではないかと感じられてうれしい。
- ・探究学習は外部の力をうまく使っているのが素晴らしい。生徒が動ける仕掛けを工夫していると感じた。
- ・多様な体験が進路に昇華されていてよかった。
- ・語学研修については、費用がかかっても海外に行く意味がある。花園高校の特徴を活かしてもらいたい。
- ・学科改編については、費用面も含めてもっと教育委員会に応援してもらわなければならない。